

い ず も 市 議 会 だ よ り



第17回 出雲ドーム2000人の吹奏楽 (9月13日(土))

●議会の動き	2	●議会活動	17
●委員会報告	3	●視察報告	18
●請願・陳情・意見書	6	●お知らせ	19
●一般質問	7	●編集後記	20

9月定例会市議会 報告

平成20年度出雲市一般会計 第2回補正予算など59議案を可決・認定

一般会計6億6,400万円の増額補正、特別会計900万円の増額補正

9月定例会市議会では、執行部から53件の議案が提案されました。その内容は、「平成20年度出雲市一般会計第2回補正予算」など予算案件2件、「出雲市税条例」の一部改正や「出雲市乳幼児等医療費助成条例」の一部改正などの条例案件20件、出雲市新庁舎の電動ロールスクリーンやブラインドなどの「備品の取得について」など12件が提出され、すべての議案を原案のとおり可決しました。

また、「平成19年度出雲市一般会計歳入歳出決算認定」など決算案件19件についても、すべて適当と認め、認定しました。

議員提出議案としては、「出雲市議会基本条例の一部を改正する条例」「出雲市議会会議規則の一部を改正する規則」「出雲市農業委員会委員の推薦について」「新たな過疎対策法の制定に関する意見書」「現行の保育制度を堅持し、拡充を要望する意見書」「漁業用燃油高騰に対する緊急支援措置を求める意見書」の6議案を提出し、いずれも原案のとおり可決しました。

平成20年度 第2回

出雲市議会（定例会）会期日程

開会 平成20年（2008）9月2日（火）

閉会 平成20年（2008）9月26日（金）

会期25日間

9月 2日（火）本会議（開会、議案上程・説明）

4日（木）本会議（一般質問・1日目）

5日（金）本会議（一般質問・2日目）

8日（月）本会議（一般質問・3日目、議案質疑、委員会付託）

10日（水）総務委員会

11日（木）文教厚生委員会

12日（金）環境経済委員会

16日（火）建設水道委員会

17日（水）庁舎建設特別委員会

18日（木）決算特別委員会（1日目）

19日（金）決算特別委員会（2日目）

22日（月）決算特別委員会（3日目）

26日（金）本会議（委員長報告、討論、採決、閉会）

◆常任委員会報告◆

まちづくり基本条例成立

総務委員会

議案十件、請願一件、継続審査中の陳情一件について審査を行いました。

このうち「出雲市ま

ちづくり基本条例」は、今年四月から五月にかけて、パブリックコメントを行い、提案された条例です。

この条例は、まちづくりへの市民参加の基本指針などを定めることにより、市民、市議会、市行政が連携、協

働して、地方分権自治の担い手にふさわしいまちづくりを推進することを、うたったものです。

審査の結果、原案のとおり可決しました。

なお、一部の委員から、現在、この条例の趣旨に沿った市政が行われておらず、今回はこの条例を制定するには適当な時期ではないとして、否決すべきとの意見がありました。

平成十九年度 出雲市病院事業会計決算認定

文教厚生委員会

収益的収支では、十八年度と比較して若干改善されたものの、三億一千二百四十七万円の赤字決算になりま

した。資本的収支では、九千五百七十七万円の収支不足が生じ、過年度分損益勘定留保資金で補てんする決算にな

っています。

病院事業における未処理欠損金は、前年度繰越欠損金八億八百八十四万円を合わせると十一億二千百三十一万円となりました。決算審査意見書にも述べられていますが、経営状況は、極めて憂慮すべき段階です。

新病院建設事業についても、可能な限りの費用の圧縮、企業債に有利な借り換えをするなど、経費削減のための一層の努力を求めるものです。

旧石橋酒造の土地・建物の早期取得を求める陳情を趣旨採択

環境経済委員会

「木綿街道」にある

旧石橋酒造の土地・建物を、破産処理に伴って第三者への所有権移転を未然に防ぐことにより、地域の活性化とまちづくりに活用できるよう、市において早期に取得することを求める陳情が提出され

また、薬品の在庫管理については、新病院建設に伴い、新システムの導入が検討されているとのことであり、在庫管理は今後、効率化が図られるよう求めました。

委員からはさらに、公立病院として、地域医療を守るといふ使命にたち、赤字経営の早期脱却に向けて、院長をはじめ、職員一丸となつて意識改革、経営改革を進めるべきとの意見がありました。以上の意見を付して認定しました。

ました。

現地視察を行い、陳情者から直接説明を聞き、内容を審査しました。

旧石橋酒造は、歴史と伝統を伝える建物で、「木綿街道」を中心とした地域活性化において、重要な役割を

果たすものであり、陳情者の願意は理解できまます。しかし、今後の事業計画などについ



木綿街道にある旧石橋酒造を視察

て、十分な検討が必要と判断し、趣旨採択としました。

出雲阿國座の早期建設についての陳情は、出雲市の観光交流拠点施設として、また、大社門前町再生整備事業の中核施設として、早期建設を求めるものです。

市民から賛否についてさまざまな意見を頂いているところであり、さらに慎重な審議が必要であることから継続審査としました。また継続審査中の、出雲阿國座建設関連予算の凍結と再考等を求める陳情も継続審査としました。

「出雲市営住宅の設置及び管理に関する条例」を一部改正

建設水道委員会

平成二十年度一般会計第二回補正予算をはじめ、議案五件について審査し、すべて原案のとおり可決しました。

このうち「出雲市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例」は、住宅の確保に配慮が必要、ひとり親世帯や障がい者、高齢者のほか、ドメスティック・バイオレンスの被害者の方などが優先的に入居できるようにすること、入居者の選考方法

を「登録制」から「抽選制」に変更することなどについて改正を行うものです。入居者の選考方法については、これまで申込順による登録制を採用していましたが、申込者が多く、入居の申込みから決定までの期間が長くなっていました。この条例改正により、原則、公開抽選により入居者を決定することとなり、今後は、迅速な入居者決定が可能になります。

◆特別委員会報告◆

新庁舎建設に伴う備品の購入などの議案を可決

庁舎建設特別委員会

本委員会に付託を受けた案件は、予算案件一件、単行議決案件三件です。今回の補正予算は、歳入補正のみです。

その内容は、太陽光発電設備に係わる環境省補助の交付決定に伴う補助金の減額、環境基金からの繰入金金の減額、および起債の増額



建設中の新庁舎を視察

決定見込みに伴い庁舎整備基金繰入金を減額補正しようとするものです。審査の結果、原案のとおり可決しました。

単行議決案件の三件は、新庁舎建設に伴う備品として、一階から二階の吹き抜け部分や六階などに設置する電動ロールスクリーンや

各階に設置するブラインド他を購入しようとするもの。また備品として、会議室などに設置するマイク、プロジェクターなどの視聴覚機器を購入するため、議会の議決を求めるものです。

内容審査の結果、原案のとおり可決しました。

◆決算特別委員会報告◆

平成十九年度決算を認定

決算特別委員会

平成十九年度出雲市一般会計など十七件の決算案件を、十三名の委員をもって審査を行いました。

た異常な状況にあり、景気はさらに厳しい展開が予測されています。

昨今の政治経済情勢は、米国のサブプライムローンに端を発した金融不安や原油・穀物・資材価格の高騰、加えて一番安全・安心であるべき食料にも次々問題が起き、想定を越え

本市は、合併後「出雲の国づくり」を標榜し、その指針となる「二十一世紀出雲のグランドデザイン」の基本方策をもとに市民との「対話と交流」を実践する中で、さまざまな地域の課題に取り組



平成19年度に増築された科学館理科学習棟

み、また市政の経営改革の実践・地域特性を生かした積極的な展開を図ってきました。こうした状況の中、本市も合併三年目の決算となり、合併の成否を問う上で正念場の年度となりました。しかし、本市の財政状況も年々厳しさを増しているところではあります。

平成十九年度の決算

の概要をみると、一般会計と特別会計を合わせた決算総額は、歳入が対前年度比で一・三二%増の千二百三十一億九千万円で、歳出が対前年度比で一・八%増の千二百二十一億二千万円、収支差引額を差し引いた実質収支

額は、七億円の黒字という結果でした。

これを会計ごとに見てみますと、一般会計ならびに繰り上げ充用を行った老人保健医療事業および風力発電事業を除く特別会計が黒字あるいは収支差引ゼロとなっています。

しかし、前年度からの繰越金や財政調整基金九億五千万円の取崩額がなかった場合を想定した実質単年度収支は、一般会計が六億円を超える赤字、特別会計も国民健康保険事業をはじめ七会計で赤字決算となっています。

財政調整基金の取崩額については、前年度に比べ半減しています。合併後三年間における三十六億円の取り崩しによって、残高はいよいよ十九億円を下回る状況になっています。

審査の過程において各委員からは、現在起債残高は一般会計および特別会計では、およそ千九百五十三億円に達しており、今後の事

業実施にあたっては、可能な限り経費の圧縮に努め、起債残高の削減に向け、一層の努力をすべきとの意見がありました。

また、収納対策においては最も未収金の多い一般会計では、その九〇%が市税であり、平成十七年度に七億二千万円であった未納額が、平成十九年度には八億四千万円にまで達しました。わずか三年間で一七%も増えており、さらに増加する気配です。

公平負担の観点からも懸命に支払っていただいている多くの市民の方々に報いるためにも、一日も早く収納率アップを図られるよう、さらなる対策を講じることを強く求めました。

一般会計、特別会計のいずれについても、一部に不認定とすべきとの意見があったものの、各施策が効果的に推進されたものとして認定しました。



平成19年度に大規模改修された四絡小学校

決算特別委員会委員

委員長	曾田 盛雄	委員	牛尾 隆利
副委員長	多久和康司	委員	原 尚義
委員	今岡 一朗	委員	勝部 順子
委員	板倉 明弘	委員	板倉 昌幸
委員	直良 昌幸	委員	板倉 明弘
委員	福代 秀洋	委員	板倉 明弘
委員	宮本 享	委員	板倉 明弘
委員	山根 貞守	委員	板倉 明弘
委員長	長廻 利行	委員	板倉 明弘

請願・陳情の審議結果

【請願】

請願番号	件名	提出者	審議結果
2	「国の社会保障費削減方針撤回」の意見書採択を求める請願	松江市大正町 島根県社会保障推進協議会 会長 池淵 栄助	趣旨採択に 賛成多数
3	政府に対し「燃油、資材、穀物の高騰から中小業者・国民の経営とくらしを守る対策を早急に講じるよう」との意見書採択を求める請願	出雲市大津朝倉 出雲民主商工会 会長 金山 政史	趣旨採択に 賛成多数
4	弥山山地・湖北山地における人とシカ共存の森づくりに関する請願	出雲市塩冶有原町 日本熊森協会 島根県会員有志 代表 横山 洋行	採 択に 全員賛成
5	2009年度(平成21年度)私立保育所(園)関係予算等についての請願(意見書提出)	出雲市西園町 出雲市認可保育所(園)理事長会 会長 松本 末吉 他1名	採 択に 全員賛成
6	学校施設等への一日も早い耐震化を求める請願	出雲市古志町 新日本婦人の会 出雲支部 支部長 景山 祐子	趣旨採択に 賛成多数
7	漁業用燃油高騰に対する緊急支援措置を求める意見書の提出を求める請願	松江市御手船場町 漁業協同組合JFしまね 代表理事長 岸 宏	採 択に 全員賛成

【陳情】

陳情番号	件名	提出者	審議結果
5	宍道湖公園湖遊館の設備の更新等に関する件についての陳情	簸川郡斐川町学頭 島根県スケート連盟 会長 森山 健一 他1名	趣旨採択に 全員賛成
6	出雲阿國座(仮称)の早期建設についての陳情	出雲市大社町杵築東 (財)出雲阿國座振興財団 理事長 千家 達彦 他7名	継続審査に 賛成多数
7	出雲市農業振興施策確立に関する陳情	出雲市今市町 いずも農業協同組合 代表理事組合長 萬代 宣雄 他1名	趣旨採択に 全員賛成
8	旧石橋酒造の土地・建物の早期取得を求める陳情	出雲市平田町 平田商工会議所 会頭 大島 治 他3名	趣旨採択に 賛成多数

【継続審査中の陳情】

陳情番号	件名	提出者	審議結果
16 (平成19年度陳情)	島根原子力発電所立地隣接危険圏域に係わる防災避難ルートの確立と防災道路新設整備費用負担を中国電力に要求と安全協定締結を求める陳情	出雲市国富町 平成の世直し人 木佐 宏	不採択に 全員賛成
	なぜ不採択	安全協定の締結については、市としても今後積極的に取り組むべき事項であり、陳情内容に賛同すべき点があるものの、陳情に至る経緯などの説明について、事実と異なる部分があると思われ、また、事実と確認できない点には、当事者の名誉に関わる部分もあることから、本陳情には賛同できないと判断しました。	
1	出雲阿國座建設関連予算の凍結と再考等を求める陳情	出雲市平野町 出雲市を愛する会 代表 岸 征男	継続審査に 賛成多数

意見書の審議結果

【意見書】

意見書番号	件名	審議結果
1	新たな過疎対策法の制定に関する意見書	原案可決
2	現行の保育制度を堅持し、拡充を要望する意見書	原案可決
3	漁業用燃油高騰に対する緊急支援措置を求める意見書	原案可決

市政のここが聞きたい

一般質問

9月定例会市議会では18人の議員がそれぞれ以下の項目について質問を行いました。1人1問ずつ選んで(◎印のもの)掲載しています。なお、原稿は質問した議員自身が要旨をまとめたものです。

原 隆利 議員(8ページ)

- ◎「ゆめタウン出雲」の雇用効果について
- 市財政について
- 出雲阿國座(仮称)建設について
- 学校給食費の納付方法について

川上 幸博 議員(8ページ)

- ◎出雲市の農業政策について
- 防災計画、水防計画について
- わかあゆの里復興事業について

米山 広志 議員(8ページ)

- ◎出雲エネルギーセンター
- 出雲国際交流会館
- 出雲市土地開発公社・出雲市の分譲地

石川 寿樹 議員(9ページ)

- ◎福祉と農業を組み合わせた旧湖陵病院の跡地利用
- 出雲のぶどう産地をいかに守るか

西尾 敬 議員(9ページ)

- ◎緊急情報伝達システムの整備計画について
- 東部都市拠点の住環境整備について

多久和 康司 議員(10ページ)

- ◎出雲神話まつりについて
- 廃食油軽油代替燃料化事業の拡充について
- 草刈りと堆肥化事業の推進を

長岡 幸江 議員(10ページ)

- ◎食育と農政について
- 地域交流活動拠点のあり方いかに

山根 貞守 議員(11ページ)

- ◎合併特例債の使用状況について
- 新庁舎完成後の移転計画及び市役所の機構について
- 新型インフルエンザの対応について

松村 豪人 議員(11ページ)

- ◎漁業用燃油高騰対策について
- 次世代エネルギーパーク整備計画について

広戸 恭一 議員(12ページ)

- ◎交通安全と事故の未然防止のために、通学用自転車は自動点灯式に限定し許可されたい
- 9号バイパス各交差点の信号機には、交差点名の表示看板設置などの計画を問う

福代 秀洋 議員(13ページ)

- ◎地球温暖化への対応について

杉谷 寿之 議員(13ページ)

- ◎出雲市の観光戦略と阿國座創建について

遠藤 力一 議員(13ページ)

- ◎市営住宅の指定管理者制度導入について
- 「赤ちゃんの駅」設置について
- シカ対策基本方針策定について問う

高野 成俊 議員(14ページ)

- ◎事業仕分けの導入について
- 松食い虫防除空中散布、健康被害問題に関して
- 市民二一ズと阿國座建設問題

萬代 弘美 議員(14ページ)

- ◎原油価格高騰から市民生活をまもる対応策について
- 神戸川上流部の改修の促進について
- 誰もが安心して介護を受けることができるように、高齢者の実態を反映した事業計画の見直しを
- 心身に障がいのある子どもたちに充実した放課後を保障することについてその後の対応と緊急対策について

大国 陽介 議員(15ページ)

- ◎「稲佐の浜」周辺の飛砂対策を
- 父子家庭への支援充実を
- 保育制度の拡充について
- 雇用促進住宅の存続に向け、最大限の努力を

珍部 全吾 議員(16ページ)

- ◎斐伊川・神戸川治水対策事業について
- クアハウス湖陵の今後について
- 阿國座について

勝部 順子 議員(16ページ)

- ◎スケルトンログ構法と地域材活用について
- 雇用促進住宅退去問題について



ゆめタウン出雲

原 隆利
ゆめタウン出雲の雇用効果は



ゆめタウン出雲がオープンして二カ月が経過したが、その雇用効果について伺う。

当初の触れ込みでは、千名を超える雇用効果が見込めるとのことであったが、実際はどう

であったのか。また、来春の正規雇用はどの程度を予定されているのか伺う。

産業観光部長

ゆめタウン出雲で働く全従業員は、三つの部門に分かれていま

す。

それぞれの部門ごとに申し上げますと、直営部門では四百二十四名中地元雇用が三百四十二名、テナント部門が九百名中七百名、清掃警備部門が百名中八十四名となっております。

合計で千四百二十四名の雇用が創出され、そのうち千二百二十六名が地元雇用です。当初

川上 幸博

出雲ブランド商品開発の必要性は如何に



観光戦略の一環として、また出雲特産作物の消費拡大策として、出雲独自のメニュー作りや、地元産品を利用したブランド商品の企画開発に取り組むことが必要と思うが、考えを伺う。

市長

国において、地域経済の活性化を目指す農工商等連携促進法による、支援策を念頭に置き、農林漁業者と中

の見込みでは、千八十八名程度とのことでしたから、やや上回る大きな雇用効果があったものと考えています。

来年の新規採用予定については、正社員の採用はすべて本社採用となっているため、地元での直接採用はありません。テナントにおける採用計画は、これから計画することです。

小企業者が連携を深め、相互の経営資源を活用し、新たな食のメニューや地元食材を活用したブランド商品の開発ができるよう取り組みます。

また、市・地元商工関係団体や、JAIなどもと連携を図りながらブランド商品の開発・販売拡大、新規販路開拓などの支援を行ってまいります。ブランド商品とし



地元産品を利用したブランド商品

て、本当に確立していく努力を惜しまず、実効性を持たせるために

出雲ブランド課を新設しました。

米山 広志

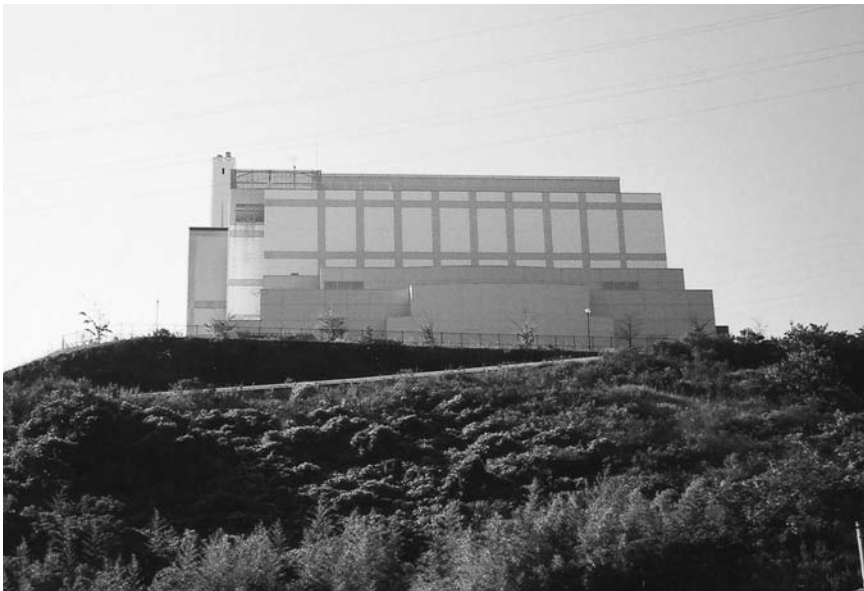
出雲エネルギーセンター
引き渡し後の管理費



出雲エネルギーセンターが建設され、五年間の保証期間が今年の十月で終了する。

引き渡しを受けてからの各年度毎の用役費、運転管理費別と管理費の総額を伺う。

②今年度の予想される



出雲エネルギーセンター

維持管理費を伺つ。

市長

①平成十五年度は、運転管理費に用役費を含んだ契約を結んでおり、一億二千三百万円、その他が千七百万円、管理費の総額は一億四千万円。

十六年度は、用役費が二億五千万円、運転管理費が一億四千五百万円、その他が六千二

百万円、合わせて四億五千七百万円。

十七年度は、用役費が二億六千七百万円、運転管理費が一億四千五百万円、その他が八千六百万円、合わせて四億九千八百万円。

十八年度は、用役費が二億六千万円、運転管理費が一億六千二百万円、その他が七千七百万円、合わせて四億

九千九百万円。
十九年度は、用役費が三億二千四百万円、運転管理費が一億七千四百万円、その他が八千三百万円、合わせて

五億八千万円。
②日立との協定に基づいて、五千三百万円の維持管理費を予定しています。

石川 寿樹
福祉と農業を組み合わせた旧湖陵病院の跡地利用



①湖陵町にある旧県立湖陵病院の跡地について、現在、県においてどのような利用計画が検討されているのか。

②出雲市として、この跡地の利用について、県に対してどのような働き掛けを行っているか。

③「グランドデザイン」の前期基本計画の中で、跡地利用案として、定住促進のための民間による宅地開発が示されている。しかしながら、現下の不況を考えると、現実的ではない。

そこで、長らく障がい者の施設があった経緯や高齢者の生きがいづくりなどの観点から、福祉と農業を組み合わ

せた就労の場としての跡地利用を考えてはどうか。

市長

①旧湖陵病院跡地について、県においては、活用計画の具体化したものはないと聞いています。

②市としては、この病院跡地の活用が、地元湖陵地域の活性化に大きなウエイトを占めていると考えています。七月一日に行った県知事への重点要望でも、住宅団地として県の主体的な整備をお願いしたところでは、③提案のあった福祉と農業のコラボレーションによる農園としての利活用については、跡



旧湖陵病院跡地

地整備案の選択肢の一つとして、県や地元と

調整していきたく思います。

西尾 敬

緊急情報伝達システムの整備計画は



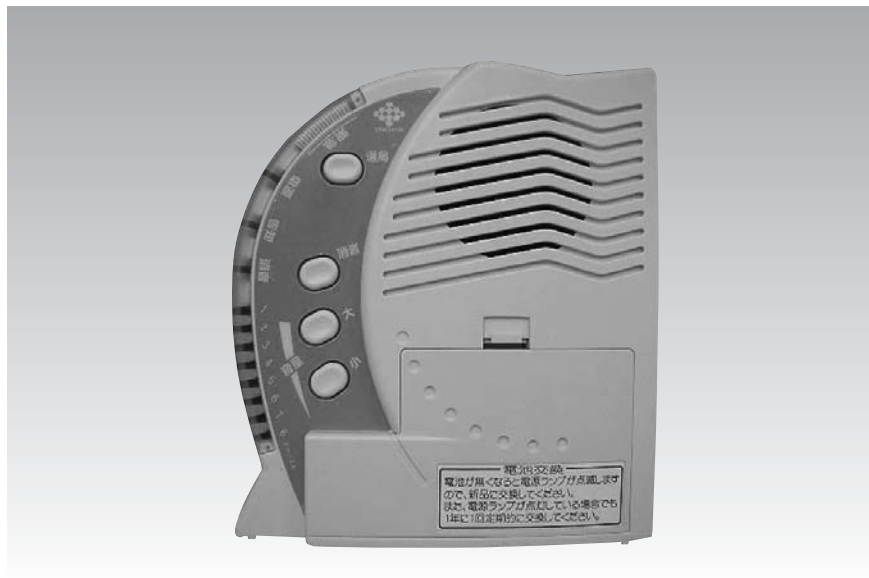
市民にとって安心・安全を得るための情報伝達システムの整備は、重要な事業のひとつである。そして、この整

備計画を市民に事前に公表するのも行政の責務と考える。情報手段の中で最も有効な手段である防災

行政無線の整備方針について、市長の発言が次々と変化してきている。今議会冒頭、市長のあいさつの中で、防災行政無線は、市内全域を対象とした整備を考えている旨の発言があったが、事実であれば大歓迎である。

い。また、合併後、情報手段として取り組まれた事業の内容と経費について伺う。

市長
本市の緊急情報伝達システムについては、まずサイレンで注意喚起をして、防災行政無線、有線放送の音声による告知、ケーブルテレビの文字放送、スマホ防災メール、エフェ



緊急情報を伝える音声告知放送端末

市長
新市発足を記念して共通の願いを持ってひとつのテーマのもとで結集した「神話の夢舞台」を發展させ「出雲

新出雲市が誕生して市全体の祭りを全国に発信するために、神様踊りを考案され、若い人たちも積極的に参加されるようになった。ただし、全市民参加や観光産業との繋がりが今ひとつである。

お祭りを發展させるためにも、中心市街地の活力になるよう主会場を二十年度に完成する新庁舎イベント広場を中心に行ってはどうか。考えを伺う。

多久和 康司
出雲神話まつりは市役所新庁舎を中心に



ムいずもなど多様な媒体の活用、また、町内連絡網、広報車により連絡することを基本的な考え方としています。

実施した事業は、二

十三カ所にサイレンの整備が三千二百万円と平田の告知放送助成が三千三百万円、防災無線整備の基本設計業務二百五十万円です。

新出雲市が誕生して市全体の祭りを全国に発信するために、神様踊りを考案され、若い人たちも積極的に参加されるようになった。ただし、全市民参加や観光産業との繋がりが今ひとつである。

お祭りを發展させるためにも、中心市街地の活力になるよう主会場を二十年度に完成する新庁舎イベント広場を中心に行ってはどうか。考えを伺う。

神話の夢おどり」ができました。場所については、それぞれ各地域でのお祭りは既存のところで行いつつ、この祭りは、新しい場所という考えから、現在の浜山公園広場になりました。年々お祭りも、名前も定着してきたと思っています。

さらに、これ以上發展させることがこれからの課題です。

来年度は、新庁舎を祝ってイベント広場で、街路も出雲市駅から国道9号まで立派な大きな神話の夢街道ができることを念頭に置き、神話まつり実行委員会や総会で十分協議



浜山公園で開催された出雲神話まつり

します。市民の期待に
応えられる案が出るこ
とを期待しています。

長岡 幸江
食育と農政への取り組みにか



日本は食糧の六割近くを海外に依存し、国際情勢の影響を受けやすい。足元の地域から地球社会を見る時勢を迎え、食料自給率のアップ、日本型食生活の見直し、国産の農水産物の消費を高める地産地消や健全な食生活を指す。食育、食品の偽装表示などの一連の事

日本は食糧の六割近くを海外に依存し、国際情勢の影響を受けやすい。足元の地域から地球社会を見る時勢を迎え、食料自給率のアップ、日本型食生活の見直し、国産の農水産物の消費を高める地産地消や健全な食生活を指す。食育、食品の偽装表示などの一連の事



自然農法講演会の模様

件により、食を取り巻く環境が大きく変わっていく。食生活が健康問題のみならず社会問題や、家庭問題の一因にあることに気づき、命を食の重要性がクローズアップされている。

健康福祉部長
食育は、家庭において

当市の食育と農政への取り組みについて伺う。

また、消費の面からは、日本型食生活を主

体の規則正しい食生活から、食に関するコミュニケーション、食に関する知識を身につけます。地域においては、自然の恵みへの感謝、食文化への理解を、イベントや研修会などを通して、いっそうの啓発事業や情報発信をしていく考えです。

山根 貞守

合併特例債の使用状況と今後の計画

料を五割以上低減して栽培するエコファーマーを育成しています。環境負荷も少ない地産地消を、市民にアピールしていく考えです。



新出雲市が二市四町の一体感の醸成を合併後十年間に行うということで、国から四百九十七億円の合併特例債が認められている。合併から今日までに、どのような使い方がされたのか伺う。

市長

この合併特例債は、合併市町村の一体的な基盤確立と地域の均衡の取れた発展に使用ができるものです。私は、特に前半の五年は重要な時期だということで、計画を立て実践してきました。

特例債を活用した大きな事業は、新庁舎建設、弥生の森博物館整

備、科学館増改築事業、市民会館改修、幼小中学校などの整備です。市長は、合併後五年間が勝負だと絶えず言っていました。旧市町ではできなかった事業に対しても、確かに積極的に取り組まれ、この姿勢には敬意を表する。しかし、今の出雲市の経済状況は、最悪の状況である。油類・諸物価の高騰、公共事業の激減、これでは、いかに二十年度末で三百億円以上の特例債を投入されても、合併効果が出た実感がない。そこで、合併特例債を利用した後半の五年間の



合併特例債を活用して建設中の新庁舎

計画を伺う。

市長

後半の五年間の計画につきましては、中期財政計画に基づき、取

り組むこととしていきます。しかし基本は、市民の生活の充実、安定に向かって努力をしていきます。

松村 豪人

漁業用燃油の高騰対策を速やかに



かつてない燃油価格の高騰に、漁業者・水

産業者が苦しんでいる。A重油の販売価格は、



定置網漁業の様相

昨年末からわずか半年間で、四割近くも上昇するといった、まさに非常事態である。漁業者からは、「このままでは漁業がでなくなる」との訴えもある。市は、こうした漁業者の窮状にどのような対応を取ってきたのか。

また、こうした漁業用燃油の高騰問題に際し、自治体によっては、独自の支援策により漁業者を救済しようとの動きを見せている。本市も、漁業を守るという姿勢を示すべきだ。漁業をどう支えていくのか。

市長

この問題について、市内の漁業者との懇談の場を望んでいます。

た。今回、議員の質問を受けて初めて、燃油対策を中心とする漁業救済の問題を指摘いただきました。国においても緊急対策を講じているが、採択条件が厳しく、十分ではありません。今後、早急に漁業者との直接協議の場

を持ち、本市にふさわしい支援について、早急に取り組んでいきます。十二月議会までには、どこまでできるかということ、さらに、来年度はどうするかを考えていきます。

広戸 恭一

交通安全と事故の未然防止に、中学・高校生の通学用自転車は、自動点灯式に限定し許可されたい



これから、どんどん日が短くなり、中学・高校生の諸君を中心に、部活をしてお帰りになる生徒さんは、暗くなつてから帰宅される。自転車通学の場合には、無灯火が非常に多く見受けられ、車を運転している人、あるいは歩行者が危険な目に遭うことが多々ある。

保護者、生徒に対し通学用自転車は自動点灯式が望ましいと呼び掛けていく学校もあるという実態です。

今後、小中学校の校長会での情報提供や、PTAの会、中学校で開催される小学六年生対象の新生説明会などで、自転車通学生に限らず、全生徒・保護者に自動点灯方式のライトの活用について紹介するなど、薄暮や日没後のライト点灯について注意を喚起します。

今後、小中学校の校長会での情報提供や、PTAの会、中学校で開催される小学六年生対象の新生説明会などで、自転車通学生に限らず、全生徒・保護者に自動点灯方式のライトの活用について紹介するなど、薄暮や日没後のライト点灯について注意を喚起します。

教育次長 現在のところ許可制をもって対応している学校はありませんが、

県立大社高校では、



車輪の中心の発電機が回転しライトが自動で点灯する

の差である。今後、PTAとよく協議され、方向を出していただきたい。

教育次長

交通安全は、子どもたちの命を守るために大切なことであります。紹介するだけではいけないのは、ご指摘ですが、まさにその通りだと思います。

PTAと話し合つて、保護者、生徒さんに自動点灯式自転車が望ましいという文書を各家庭全部に配り、また学校の掲示板に張られたと、伺っている。先程の答弁では、小中学校の校長会、PTAなどで、情報提供や紹介をする程度の話で大社高校とは雲泥

福代 秀洋

進行する温暖化への取り組みは



気候変動に関する政府間パネル（IPCC）の第四次報告書は、地球温暖化に関して、強い警鐘を鳴らしている。

このまま化石燃料に依存し続けるならば地球の平均気温は、百年足らずで六度以上、上昇するおそれがある。全生物の四〇パーセント以上が絶滅し、大洪水、大干ばつ、熱波、栄養失調、病気などが多発し、人間の生存に大きな影響が及ぶと予測される。

市の温暖化防止への取り組みと、進行する温暖化への対処を伺う。

市長

平成十九年に出雲市環境基本計画を、本年二月には出雲市地域省エネエネルギービジョンを策定しました。二〇〇六年度を基準とし、二〇一六年度において、約二〇パーセントの二酸化炭素の削減を目標



としています。達成には市民・事業者のご協力が、必要不可欠です。

また、職員率先垂範の活動として、三キロメートル以内のマイカー通勤自粛を行っています。目標達成に向けた取り組みの推進のため、年度内には推進協議会を立ち上げます。

市職員マイカー通勤自粛の近況を伺う。

環境政策部長

今、達成率は約四六パーセントです。

二〇〇五年が五七パーセントなので、低下している。しっかりと取り組むつもりです。

杉谷 寿之

出雲市の観光戦略と阿國座創建



観光政策推進本部を新設され、半年たったが現状はどうなっているのか。阿國座問題一つとっても、足踏み状態が続いている。もう結論を出す時期が、来

ていると思うが。出雲の観光戦略には「海と夕日」のテーマをもっと大きく取り上げる必要があり、日御碕から鷺浦に至る海岸と日本海のすばらしさを生か



海からの景観は知られざる絶景の連続

すべきではないか。

市長

産業政策とは不可分な観光戦略を、経済産業発展の新たな重点施策に据えるべく、市長を本部長とする観光政策推進本部を新設しました。

月々二回戦略会議を開き、宿泊率の向上や物語性のある食の提供や出雲のブランドを高める方策を議論をしています。「海と夕日」は、市

にとって重要なテーマとしてとりあげねばならないと考えます。総務省では、地域力

遠藤 カ一

市営住宅への指定管理者制度導入を



市営住宅の指定管理者制度の導入が多くの都市で進んでいる。多様な居住者ニーズに対してより効率的、きめ細かな対応を図るためだ。

そのメリットは、迅速な対応、簡易な改修、

創造本部が設置された。「地域力」とは、「資源力」と「人間力」が結合したものだ。

出雲には、資源力は有り余るほどある。しかし、人間力に問題がある。「やる気」「能力」「戦略」だ。阿國座の問題にあてはめてみれば、それが理解できる。市民や議会にどう「人間力」を認め、納得してもらおうかを伺う。

市長

阿國座については、都市整備部ともハード面、ソフト面からもっと協力しながら準備をすすめます。

週一回の団地巡回。土日、祝日の窓口および開設時間の延長、また夜間の徴収体制の確立、月三回程度の夜間訪問が行われている。そのほか緊急時の二十四時間電話対応・出動サービスの実施、小



市営小山住宅

破修繕のローコスト化、職員削減、管理人の廃止などサービス面の向上、滞納処理の面から実効性が上がっている。

都市整備部長

平成十五年の地方自治法の改正により、市

営住宅の管理につき指定管理者制度が導入され、市の判断が必要な入居者の決定や家賃の決定などを除く入居者の募集、収入審査、家賃徴収、修繕および清掃などの市の補助的業務について委任することができるようになりました。

今後の本市における

事業仕分けとは、国や地方自治体が行っている行政サービスの必要性を、実施主体である国、県、市の予算書を事業ごとに議論をして、行政でやるべきこととは何なのか、民間でやるべきことは何なのかを判断することである。

そして、事業の要否や是非について他の自治体職員や有識者を参加させ、さまざまな事業を主観的ではなく、客観的な視点から公開の場で議論をし、財政運営の再構築を図るものである。すでに取り組んでいる自治体では成果があがっている。導入について、考え方

高野 成俊
行革のための事業仕分けの導入を問う



市営住宅の管理の方向性については、市の直営管理を継続するのか、指定管理者制度あるいは管理代行制度を導入するのか、メリツ


ト、デメリットや費用対効果などを比較考慮するとともに、先進地の状況なども参考にしながら、総合的に検討していきます。

財政部長

を問う。

本市では、二十一世紀出雲市行政改革実施計画を策定し、既存の事務事業の見直しと業務の民間委託をはじめ、行政の効率化を進めています。事務事業の見直しとしては、保育所の民営化、福祉施設の民間移譲、指定管理者制度の導入など実施し、適宜予算への反映を行っています。

萬代 弘美
原油高騰から市民生活を守る
緊急総合対策の実施を



原油価格の異常な高騰が続く、市民の暮らしをはじめ、農漁業、中小企業など、地域経

しては、むだを省くという直接的な効果に加えて、作業を通じて市民や行政職員の問題意識を高めるといった効果も期待できます。この考え方を十分参考にしながら、引き続き行政改革を進めていきます。



民営化される平田保育所



原油価格の高騰は市民生活を直撃

済にも重大な影響を与えている。緊急支援にふさわしい被害救済策の実施を強く求める。
 ①緊急対策本部を設置し、総合対策の実施を。
 ②中小零細企業や農業、福祉、教育の現場での原油高騰の影響調査を行い、有効な支援策の実施を。

市長

③政府に対し、灯油の価格引下げなど緊急対策を求めるとともに、要因である国際投機マネー抑制のルール確立を要望することについて、市長の所見を伺う。
 政府は物価上昇に苦しむ国民や農業者、漁業者、中小企業の支援

毎年季節風が強まると、稲佐の浜から南の海岸沿いでは砂が飛び散り、住民の生活に支障をきたしている。
 近年は砂の粒子が細かくなり、まるで「灰」のようだといわれる。この細かい砂が風に乘って飛び散り、道路に溜まったり、住宅のサッシに入り込んだり、玄関先に積もったりするなど住民を悩ませている。
 「冬が近づいてくると心配、なんとか対策を

大国 陽介
稲佐の浜周辺の砂対策を急いで



に力点を置いた総合対策を打ち出しました。本市としても、市内の社会経済状況を的確にとらえ、国などの動向を注視しながら、県の努力も求め、実効性のある施策の検討を考えています。
 ①全庁的な総合的な検討協議を年末にかけて行わなければならない

と思っています。
 ②産業・福祉・教育など各分野における原油高、資源高が及ぼす影響は、必要があれば実態調査も考えます。
 ③八月八日に全国市長会が緊急要望を發しました。国際的な投機マネー抑制については、政府の毅然とした対応を望みます。

とって欲しい」との声を聞いた。
 将来的には、海岸一帯の整備が進められるものの、抜本的な対策には至っていない。現段階での砂対策の進捗よく状況と今後の見通しを伺う。
産業観光部長
 二〇〇七年度に県は、飛砂防止対策として、弁天島から南側の砂浜に延長百四十メートルにわたって竹柵を設置したところです。市としては、この効



砂対策が急がれる稲佐の浜周辺

果を見極めながら、また地元と協議の上、引き続き早急な飛砂防止対策を県に要望していきます。

砂はまるでホコリのように細かく、本当に悩ましい状況が続いている。今年も冬が近づいてくが、少なくとも応急処置を早い段階で講じていただきたいと思うがいかがか。
産業観光部長
 県に実態を伝え、早急なる対応と対策を強く働きかけます。



斐伊川から放水路を望む(写真提供:国土交通省 中国地方整備局 出雲河川事務所)

珍部 全吾
斐伊川・神戸川治水事業



神戸川流域八地区で自治協会長・土木委員長などを中心として構成する住民協議会が設立された。
その準備会で「大橋川拡幅工事に着手されていない場合でも放水路に分水させてもいいのではないか」との発

言があったと八月八日付の山陰中央新報で報道された。この記事に対しての市長の見解を求める。
また、神戸川流域で今後最も重要な課題は、河川敷の有効利用である。旧出雲市議会において当時の出雲陸連か

らだされた「河川敷にハーフマラソンコースの設置を」との陳情を採択した経過もあるが、これについての市長の所見を伺う。

私は、このような利用方法は、まさしく健康的であり、各種大会などが開催されれば、地域の活性化にもなり、大変な経済効果もあるように思う。

市長
昭和五十七年の旧出

雲市の議会同意の六条件は本事業同意の基本であり、三点セットは原点であります。これらの条件を原点としながら、早期の大橋川拡幅工事の進展を願うものです。

旧市議会での陳情の採択については、十分認識をしているところであり、その計画を利用計画案として、図面にも明記しており、今後推進して行きます。

勝部 順子

佐田中学校建設を、「スケルトンログ構法」で



「スケルトンログ構法」は、丸太材を皮剥ぎ天然乾燥した地域材を丸太のまま構造材とする技術である。
地球環境保全と、資源の持続性の確保という林業の基本的課題の解決にも寄与するとし、高く評価されている。

①丸太材使用でのコスト削減。
②木造建築はアレル

ギー対策に有効などの点から、予定されている佐田中学校の建設を「スケルトンログ構法」で実施されることを提案する。

都市整備部長

①屋内運動場など大規模な木造建築の場合、特殊な構造・工法を用いる必要があり、鉄骨造など非木造の建築とほぼ同程度と考えています。



「スケルトンログ構法」で建設された小鴨小学校屋内運動場(倉吉市)

佐田中学校改築は、地元産丸太材を構造材として使用する「スケルトンログ構法」での建設をとのことですが、この構法を含む木材工法では、建築基準法において二階建て以下、かつ二千平方メートル以下でしか、建築が認められていません。

国内では、屋内運動場として若干の建設事例がありますが、本市

の中学校の屋内運動場は柔剣道場を備えた三階建てであったり、校舎は規模が大きくなることから、耐火建築物とする必要があり、困難な状況です。

②建築基準法の改正で、シックハウスの原因になる化学物質の室内濃度を下げするために建材、塗料、接着剤などが指定され、適切な材料を選定していただきます。



市内14団体から50人が参加

出雲市の観光振興と出雲阿國座に関する意見交換会を開催

八月一日、ラピタウエディングパレスにおいて、出雲市議会環境経済委員会と観光・産業振興特別委員会主催により、「出雲市の観光振興と出雲阿國座に関する意見交換会」を開催しました。

市内十四団体より、出席いただき、出雲市の観光振興について、また、出雲阿國座の建設について、賛否両論、さまざまご意見をいただきました。

出席者からの主な意見
賛成

- ・ 全国オンリーワンの舞台である阿國座建設の実現を要望する。
- ・ 観光産業を基幹産業と位置付けるべき。
- ・ 阿國座は、十分に説明すれば、必ず理解が得られる事業である。
- ・ 阿國座を観光の一つのルートとして、全国に発信すべき。

反対

- ・ 出雲に歌舞伎の文化が伝承されているのか疑問。
- ・ ランニングコストが心配。
- ・ 全国的にみても、箱モノ行政はことごとく失敗をしている。
- ・ 合併協議会で阿國座の議論がされていない。
- ・ 市民説明会では、大半が反対であった。

その他

- ・ 阿國座の規模は、身の丈にあったものでいい。

参加団体（順不同）

- ・ 出雲商工会議所
- ・ 平田商工会議所
- ・ 出雲商工会
- ・ いずも農業協同組合
- ・ 出雲市を愛する会
- ・ 出雲市自治会連合会
- ・ 出雲青年会議所
- ・ 平田青年会議所
- ・ 出雲大社青年会議所
- ・ 出雲市連合婦人会
- ・ 出雲阿國座振興財団
- ・ 出雲阿國顕彰会
- ・ たいしや振興21
- ・ 住みよい大社のまちづくりを考える会

議会活動(7月～9月に開催された会議)

- 7月 4日 広報委員会
- 7月 9日 広報委員会
- 7月11日 広報委員会
- 7月25日 環境経済委員会、観光・産業振興特別委員会合同協議会
- 7月31日 総務委員会協議会
- 8月 1日 議会運営委員会 全員協議会
環境経済委員会、観光・産業振興特別委員会合同協議会(出雲市の観光振興と出雲阿國座に関する意見交換会)
- 8月 4日 総務委員会(現地視察)
- 8月18日 環境経済委員会、観光・産業振興特別委員会合同協議会

- 8月19日 議会運営委員会
- 8月26日 議会運営委員会 理事会
- 8月29日 環境経済委員会、観光・産業振興特別委員会合同協議会
- 9月 2日 議会運営委員会 全員協議会 理事会
- 9月 5日 議会運営委員会
国県道対策特別委員会協議会
- 9月16日 議会運営委員会
- 9月24日 議会運営委員会
- 9月25日 環境経済委員会、観光・産業振興特別委員会合同協議会

議会運営委員会：議会を円滑に進めるため、議会の運営に関することについて協議したり、意見調整を図ることを目的に設置された委員会。

全員協議会：市政全般に関する事項や、議会全般に関する事項などについて協議するため、全議員で行う会議。

委員会協議会：常任委員会や特別委員会が、担当する事項やその他の問題について協議する会議。合同で開催する場合もある。

市政調査研究会：市が推進する主要事業や市議会の広報活動について、市議会として独自に調査研究を行うために設置された協議会(ICT活用調査研究会、地域医療福祉協議会、出雲平田線対策協議会、堀川水系対策協議会、循環型社会構築協議会、広報委員会のほか、5つの協議会があります。)

理事会：議長、副議長と会派の代表者からなる会議で、議案の審査や議会運営の充実を図るため、会派間の意見調整や協議を行う。

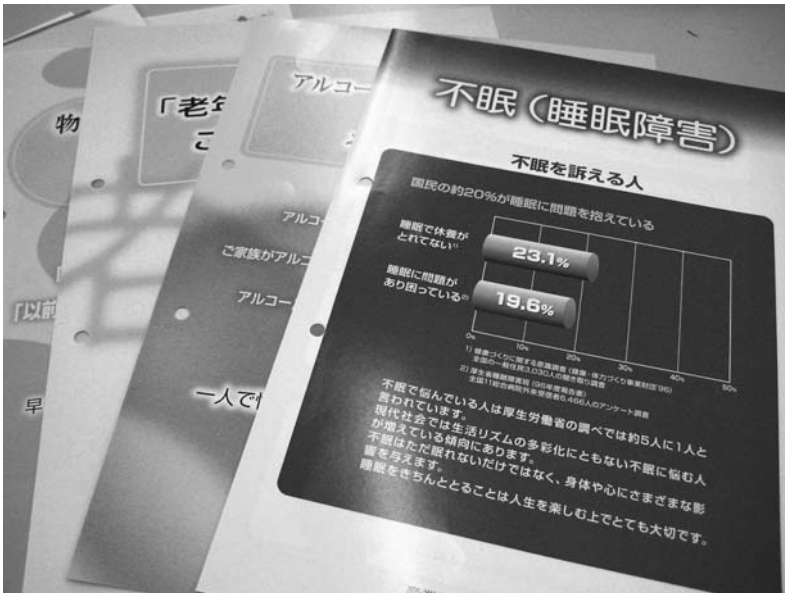
視察報告

文教厚生委員会

『喫緊の自殺予防対策』

7月1日～3日

鳥根県は、自殺率が全国的にも高い中で、うつ対策が大きな課題になっています。そこで、福岡県中間市のう



全戸配布されているリーフレット(福岡県中間市)

「バルハウスぼちぼち」を拠点に、産業医科大学精神医学教室の協力を得て、住民の自殺予防と障がい者に対する市民への啓発と理解を深めることを目的とした事業です。

民生児童委員研修会、市職員研修会、保健師研修会、校長・教頭を対象とした学校関係研修会、精神障がい者家族会研修会、また、一般住民向け研修会などを出前講座の形で年間数多く開催したり、心の健康づくり事業リーフレットの全戸配布を年六回行う事業が行われていました。その結果、リーフレットの配布による問

い合わせや相談件数が倍増し、また、障がい者に対する認識がわずかではあります。向上きとなり、理解も深まってきたそうです。活動支援センターの利用者および相談者の数も倍増、さらに、命の大切さという認識が浸透しつつあるようです。

平成十八年十月の自殺対策基本法の施行により、自治体の責務を明らかにすることとなりました。本市でも、早期に具体的な事業を行う必要を感じました。このほか、沖縄県の那覇市立病院と八重瀬町で視察を行いました。(板倉 明弘 記)

議会運営委員会

『予算決算委員会のあり方を学ぶ』

7月28日～30日

予算や決算の審査については、議員全員が深い関心を持っています。常任委員会の複数制が認められ、予算・決算委員会の常任委員

会設置が可能となりました。従来行っていた分割付託は、法的に疑義があることや予算全体を実質的に審議する場が



三鷹市議会でも事務局から説明を受ける

ないことなどから、全議員で予算全体を審査する場が求められていました。本市においても来年度予算から新たな審査方法を取り入れるべく、七月二十八日から三日間、沼津市・八王子市・千代田区、そして三鷹市を訪れ、予算・決算の方法について視察研修しました。その方法は、――

- ①議員全員で予算決算常任委員会を設置し、全体会で総括質疑を行い、後に分科会で審査する。
- ②全議員を半数ずつに分けて、予算常任委員会と決算常任委員会を設置する。
- ③一般会計予算決算常任委員会と特別会計・企業会計予算決算常任委員会を設置し、全議員が一年ずつで交代就



仮設校舎で学ぶ被災地の子どもたち(漢中市略陽県)

友好都市漢中市が、四川大地震による被害を受けたことから、急きょ市の関係者と共に、市民からの見舞金、議会からの見舞金、出雲市内小中学校から託された激励金などを贈

中国漢中市災害見舞い視察訪問
『四川大地震被災地漢中市を訪ねて』
7月6日～11日

任する。
④一定の委員数(十から十五名程度)で構成する予算常任委員会、決算常任委員会で審査を行う。
以上、大きく四つに分類でき、今後これをもとに、本市に適した方法は何か議論していきます。
(遠藤 カ一 記)

呈するため訪問することになりました。七月七日に漢中市に入りましたが、市内は外見には全く被災の様子はうかがえませんでした。しかし、いくつかの建物が使用できなくなっている現状や、五月十二日の地震発生から余震がひどく、二週間程度も屋外で就寝したことなどを聞いて、その規模の大きさに驚かされました。

私は、最も被害のひどかった略陽県に入ることができました。すでに被災から二カ月が経過しているにもかかわらず、県庁舎前庭には「災害対策本部」の看板が立てられたテントが張られ、被災した市民が次々に相談に訪れていました。

学校の被害が大きかったと聞いていたの、被災した学校を二つ見せていただきました。第二中学校と高台の中心にある大規模な学校でしたが、すべての校舎が使用不能になり、校庭に仮設プレハブ校舎が建設され、夏のさなか扇風機の風を頼りに、すし詰め授業が行われていました。

中国は九月が新学期に当たするため、地震で閉校していた三週間の遅れを取り戻し、進級試験に備えるために授業が行われていました。子どもたちの表情は明るく、私の呼びかけに「加油! (ジャーヨー) がんばるわ」と力強く答えてくれたのが、強く心を打ちました。新しい校舎の建設は、軍隊の力を借りて進められていました。一日も早い復興を、祈らずにはいられませんでした。
(原 隆利 記)

選挙の有無に関わらず、政治家が選挙区内の人に寄附を行うことは、名義のいかんを問わず特定の場合を除いて一切禁止されています。有権者が求めてもいけません。

禁止されている寄附(例)

- × 病気見舞い
- × 祭りへの寄附や差入れ
- × 地域の運動会やスポーツ大会への飲食物の差入れ
- × 結婚祝、香典
(政治家本人が自ら出席する場合は罰則の適用なし)
- × 葬式の花輪、供花
- × 落成式、開店祝の花輪
- × 町内会の集会や旅行等の催物への寸志や飲食物の差入れ
- × 入学祝、卒業祝
- × お中元、お歳暮

◎年賀状などのあいさつ状にも制限があります。
議員が選挙区内の人に年賀状や暑中見舞状などの時候のあいさつを出すことは、「答礼のための自筆によるもの」以外は禁止されています。

みんなで徹底しよう「三ない運動」



総務省・(財)明るい選挙推進協会

出雲市議会はケーブルテレビで放送しています

出雲市議会の一般質問、市長施政方針、会派代表質問、最終日委員長報告の様子は、ケーブルテレビで放送していますので、ぜひご覧ください。

放送対象	放送日時(いずれも放送対象の開催当日)
一般質問、市長施政方針 会派代表質問	生放送(10:00～)、再放送(18:00～)
最終日委員長報告	録画放送 (出雲ケーブルビジョン17:00～、ひらたCATV18:00～)

※放送時間は予告なく変更になる場合があります。

議会ホームページをご覧ください

出雲市議会のホームページには、議会日程や一般質問通告一覧表、会議録、いずれも市議会だより(PDFおよび音声データ)など、議会に関するさまざまな情報を掲載しています。幅広くご利用ください。議会ホームページは、下記出雲市のホームページからアクセスできます。



【誤】古福康雄
←
【正】古福康雅

くお詫びと訂正
平成二十年七月二十四日発行のいずも市議会だよりにおいて、「一般質問」(13ページ)の質問者の氏名に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

議会傍聴にいらっしゃいませんか

◆本会議の傍聴

議会には、年4回(3月、6月、9月、12月)開かれる定例会と、必要に応じて開かれる臨時会があります。

本会議は公開で行われるため、自由に傍聴できます。お気軽にお出かけください。

◆委員会の傍聴

委員会は、原則公開で行っています。(ただし、委員長の判断により非公開とする場合があります。)

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

編集後記

市民の皆さまからさまざまな意見が寄せられている「出雲阿國座」建設問題について、現在議会では、鋭意調査や討論をし、解決に向け努力をしています。しかし、この議会においても結論が出せず、この事案に係る陳情を継続審査としました。

民主主義は、単純な多数決で決定するのではなく、さまざまな意見を話し合い、解決に向かうことに意義があると考えます。解決に時間がかかりますが、大切なことと考えます。

議会だよりを通して、議会の議論を報告していきますので、審議を見守っていただくとともに、さまざまな意見を議会に届けていただきたいと思いますので、引き続きよろしくお願いたします。

〈板倉 一郎 記〉

議会に関する問い合わせは

〒693-8530 出雲市今市町109-1

出雲市議会事務局

電話(0853)21-6579 ファックス(0853)24-1720

ホームページ <http://www.city.izumo.shimane.jp/>

出雲市ホームページの中の [出雲市議会](#) をクリック

メール gikai@city.izumo.shimane.jp

委員長 勝部 順子
副委員長 松村 豪人
委員 山根 陽介
委員 大國 貞守
委員 萬代 輝正
委員 板倉 一郎
委員 石川 壽樹
委員 高野 成俊
委員 広戸 恭一
委員 小汀 英久
委員 板倉 明弘
委員 杉谷 寿之
委員 宮本 一朗
委員 今岡 一朗

広報委員